

性格上、人口に関連する報告は多かったが、日本人口学会会員によるものとしてはそれぞれ別のセッションで以下の4報告があった。

子どもの家族環境の変化	坂井博通（埼玉県立大学）
女性の就業と出生関連意識	小島 宏（国立社会保障・人口問題研究所）
世帯構造と直系家族規範—近世東北農村の歴史人口学的分析	平井晶子（京都大学）
母親の就業継続と子育て支援	白波瀬佐和子（国立社会保障・人口問題研究所）

なお、2日目午前のテーマセッション（2）「日本・韓国における家族政策と親子関係」は韓国家族学会との交流事業の一環として行われたもので、韓国家族学会を代表して韓 慶恵・ソウル大学教授をはじめとする4人の研究者が参加された。また、2003年大会は9月6（土）～7日（日）に大阪府立大学で開催されることになっている。（小島 宏記）

日本環境経済・政策学会2002年大会

環境経済・政策学会（会長：佐和隆光・京都大学教授）の2002年大会（実行委員長：吉田文和・北海道大学教授）が2002年9月28日（土）～9月29日（日）の2日間にわたって札幌市の北海道大学で開かれた。今回は事実上の第7回の研究大会であり、初日の午前から2日目の午前にかけて11種類のテーマで27のセッションが行われたほか、「自由論題セッション」2つと「英語セッション」が行われた。また、2日目午前には学術的な報告からなるセッションとは異なるが、「ヨハネスブルグサミット報告会」も開催され、午後には市民公開シンポジウム「公共事業と環境保全」が開催された。

学会の性格上、人口に間接的に関連する報告は少なくなかったが、日本人口学会会員によるものは以下の3報告のみであった。

セッションD-2 「アジア及び途上国の環境問題（その2）」
5 中央アジアにおける母子の健康の環境関連要因 小島 宏（国立社会保障・人口問題研究所）

セッションH-2 「エネルギー（その2）」
3 家庭部門の消費者が望む自然エネルギー導入と電力価格のトレードオフ
宮田史子（北海道電力総合研究所）／土屋智子（電力中央研究所）

セッションI-2 「環境政策国際比較（その2）」
6 環境保全に配慮した技術指数の試み 野上裕生（日本貿易振興会アジア経済研究所）

なお、2003年大会は9月27（土）～28日（日）に東京大学で行われることになっている。（小島 宏記）